

開館10周年
記念企画展

四季の詩

平成28年7月12日(火)～9月11日(日)

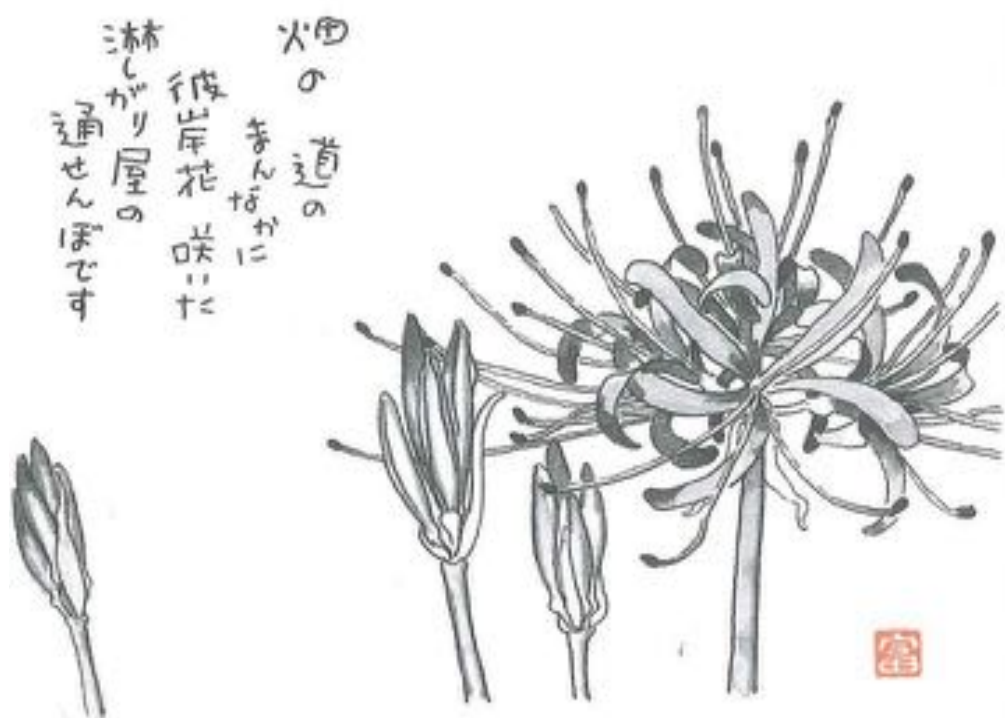
休館日：第2・4月曜日

開館時間：9:00～17:00

入館料：大人500円 小中学生300円 幼児無料
※20名以上の団体、JAF会員証・障がい者手帳等お持ちの方割引有り

会場：芦北町立星野富弘美術館
〒869-5563熊本県葦北郡芦北町大字湯浦1439-2
Tel&Fax:0966-86-1600

URL:<http://www.hoshino-museum.com>



1984年「彼岸花」

四季の詩

芦北町立星野富弘美術館は、群馬県みどり市立富弘美術館の姉妹館として、平成18年5月に開館しました。これまで多くの星野富弘ファンや地域の皆様に支えられ、今年が開館10周年という記念すべき節目を迎えます。本展は、これを記念しての企画展（第二回）となります。

星野富弘は、大学を卒業後、体育教諭となりましたが、2ヶ月が過ぎた頃、放課後のクラブ活動の指導中、誤って頭部から落下。第四頸髄を損傷し、体の自由を奪われてしまいました。9年に及ぶ入院生活の中で、同じ病室の、同じ窓から、同じ風景を見ていて、めぐる季節を知り、慰めや寂しさを感じたと言っています。

顔の前20センチの所に画用紙を立てると、他のものはほとんど見えなくなります。ですから、描く花は、画用紙の横に辛うじて見える一輪か二輪の花になります。でもこの不自由が、私に花の美しさを教えてくれました。あれも描きたい、これも描きたいという誘惑から、一輪の花と静かに向き合うことを教えられたのです。

よく見る道端の小さな花は、決して小さくありませんでした。虫に食われた葉っぱ、折れてもなお起きようとする茎、夏の陽に焼かれた花びら、いつのまにか、私は草花に人間を重ねてみるようになりました。

（一花の詩画集－「あなたの手のひら」より）

日本の穏やかな四季が創る自然美。寒い冬には暖かい色の花、暑い夏には涼しい色の花。目の前の自然と向き合うことで生み出される、星野富弘の「四季の詩」、ぜひご堪能ください。



「小さな実」



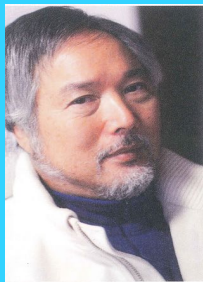
「ふしぐるせんろう」



「栗の実」



「雷割草」



星野 富弘（ほしの とみひろ）

1946年群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に生まれる。群馬大学教育学部保健体育科卒業後、中学校の教諭になるが、クラブ活動の指導中に頸髄を損傷、手足の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵をかきはじめる。

前橋で最初の作品展を開く。退院後、雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を始める。1982年高崎で初の「花の詩画展」を開催以降、全国各地、また海外でも開催され、現在も続いている。1991年群馬県勢多郡東村に村立富弘美術館（現みどり市立「富弘美術館」）開館。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。

交通案内

●電車の場合

- 熊本▶新八代または八代（JR鹿児島本線）／約40分
 - 新八代または八代▶湯浦（肥薩おれんじ鉄道）／約60分
 - 新水俣▶湯浦（肥薩おれんじ鉄道）／約15分
 - 湯浦▶美術館（徒歩）／約10分
- ※湯浦駅から美術館までは、案内看板を設置しています。

●お車の場合

- 芦北IC▶美術館／約10分
- 津奈木IC▶美術館／約15分



芦北町立
星野富弘美術館

〒869-5563
熊本県葦北郡芦北町大字湯浦1439-2
Tel/Fax.0966-86-1600
URL.<http://www.hoshino-museum.com>